

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会 感染症解析評価部会]
(平成13年2月解析分)

1 疾患別定点情報

定点把握(週報)四類感染症

平成13年1月分(1月1日~1月28日:4週間分)

疾患No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	疾患No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	160	0.34	17.44	↑	12	麻疹	38	0.13	0.07	
2	咽頭結膜熱	23	0.08	0.04	↘	13	流行性耳下腺炎	241	0.80	0.76	↘
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	315	1.05	-	↘	14	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.03	
4	感染性胃腸炎	3,081	10.27	5.41	↘	15	流行性角結膜炎	68	0.85	1.04	↘
5	水痘	717	2.39	2.05	↗	16	急性脳炎	0	-	-	
6	手足口病	27	0.09	0.09	↓	17	細菌性髄膜炎	0	-	0.00	
7	伝染性紅斑	70	0.23	0.20	↗	18	無菌性髄膜炎	3	0.04	0.01	
8	突発性発疹	181	0.60	0.57	↘	19	マイコプラズマ肺炎	7	0.08	-	
9	百日咳	4	0.01	0.02		20	クラミジア肺炎	0	0.00	-	
10	風疹	4	0.01	0.20		21	成人麻疹	0	0.00	-	
11	ヘルパンギーナ	16	0.05	0.03	↘	「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当り)					

急増減	増減	微増減	横ばい
↑	↗	↗	⇨
↓	↘	↘	
前月と比較しておおむね1:2以上の増減	前月と比較しておおむね1:1.5~2の増減	前月と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	殆ど増減なし(発生件数少数のものを含む)

定点について

定点情報は、定点把握対象の四類感染症(週報対象21疾患,月報対象7疾患)について、県内186の定点医療機関からの報告を集計して作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD 定点	基幹定点	合計
対象疾患 No.	1	1~13	14, 15	22~25	16~21, 26~28	
定点数	44	75	20	26	21	186

この情報は、「<http://www.pref.hiroshima.jp/fukushi/kenkou/kansen/index.html>」のホームページに掲載しています。
全国情報については、「<http://idsc.nih.go.jp/>」に
インフルエンザホームページは、「<http://influenza-mhw.sfc.wide.ad.jp/>」に掲載されています。

疾患 No	疾患名	月間発 生数	定点 当り	過去 5年 平均	発生 記号	疾患 No	疾患名	月間発 生数	定点 当り	過去 5年 平均	発生 記号
22	性器クラミジア感 染症	56	2.15	1.47	⇨	26	メチシリン耐性黄 色ブドウ球菌感染	122	5.81	-	⇨
23	性器ヘルペスウイ ルス感染症	19	0.73	0.62	⇨	27	ペリシリン耐性肺 炎球菌感染症	29	1.38	-	
24	尖圭コンジローム	18	0.69	0.25	↑	28	薬剤耐性緑膿菌感 染症	11	0.52	-	
25	淋菌感染症	32	1.23	0.79	↗	「過去5年平均」：過去5年間の同時期平均 (定点当り)					

インフルエンザ 急増（12月72件 1月160件）

尖圭コンジローム 急増（12月6件 1月18件）

手足口病 急減（12月138件 1月27件）

2 一類・二類・三類感染症及び全数把握四類感染症発生状況

一類感染症 発生なし

二類感染症 細菌性赤痢2件発生（広島市）

三類感染症（腸管出血性大腸菌感染症） 6件発生（広島市4件，海田保健所1件，三原保健所1件）

全数把握四類感染症 3件発生（急性ウイルス性肝炎2件，クロイツフェルト・ヤコブ病1件）

3 インフルエンザの予防について

・今冬のインフルエンザの発生状況

今冬はインフルエンザの流行が遅く，12月（12月4日～31日）分の報告件数は，県内で72件，全国が5,385件）と昨年12月（12月6日～1月2日 県内637件，全国37,846件）と比較して少なくなっています。

しかし，例年1月下旬から大流行しているため，次のことに気をつけて予防しましょう。